



だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2

Tel : 0564-51-1601 Fax : 0564-51-4831

E-mail : noudai@pref.aichi.lg.jp

ホームページ : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



CONTENTS

- 1 2021 新入生座談会
- 2 専攻紹介 露地野菜専攻
- 3 体育祭
- 4 学生クラブ紹介 (卓球部、軽音楽部)
- 5 専攻トピックス
- 6 がんばってます！研修生OB紹介
- 7 トピックス
副知事が来校
進学指導会・就職セミナー開催
農福連携支援研修開講
令和3年度外部評価委員会を開催

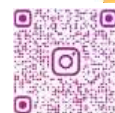
- 8 お知らせ
オープンキャンパス、令和4年度入学者選抜試験、愛知農業次世代リーダー塾

愛知県立農業大学校
公式HP



SNS

Instagram



Twitter



野田 全寮制なので親への依存が減ったかなと思います。人とかかわる濃度も回数も圧倒的に変わりました。

寺澤 うちが花農家なんですけど、高校が農業科でなかったたので、農大でちゃんとした花の勉強ができて、新鮮な気持ちになりました。

土橋 高校の時は先生に言われてやるのが多かったんですが、農大では学生主体で実習するので、自主性というか、自分たちで考えて動くことができるようになったかなって思います。

校長 農大において、ええって驚いたこととはありましたか。

土橋 実習する場所と寮が校内にあるので、機械が故障したときには、夜遅くまで修理して、結構すごいなあって。後の時間に制限がないので、ええって、思いました(笑)。

**資格をたくさんとりたい
農業はコミュニケーション力が大切**

校長 畜産関係は生き物を飼っているから、その日に直さないといけないですね。そういうところが全寮制のだけご味かもしれません。さて、農大の2年間でこれをやっておこう、やってみようことはありますか。

土橋 学生のうちにいっぱい勉強してできれば資格をたくさんとりたいたいと思っています。それから、自分から話に行くのが得意じゃないので、コミュニ

ケーション力、人との対応力を身につけていきたいと思っています。特に農業はコミュニケーションが大切だと思います。とりあえずいろいろと人に話かけることからしてみたいと思っています。

寺澤 切花の色染めとか加工の勉強をして、若い人に花を見てもらえるようにして、もう少し花が売れるようにしてみたいです。どうやったら売れるのか、そういう経営の勉強もしてみたいです。それから、軽音楽部に入ったんですが、高校で管楽器の経験があるので、それ以外の全部の楽器にも挑戦してみたいと思っています。



寺澤祐美さん

野田 現場で実際動けるように、簿記とか経営関係の資格をとりたいと。それから専攻に、ものすごくコミュニケーションがうまくて心の壁がないすごい人がいます。その人を見習って自分もコミュニケーションを高くしていきたいと思っています。

岩橋 資格取得、IT系や経済系などとにかくどん欲に積極的にとりたいと思っています。それから今までのように親に頼らず、一人の大人として自立したいと思っています。

農家さんを支える仕事をしたい!

校長 将来的の進路やそのために何かめざすところはありますか。

岩橋 今は求人票とか見て、どういう人が求められているのか、自分がそのようになるためにどのような進化したらいいか考えていきたいと思っています。



岩橋 想さん

野田 とりあえず就職する前に、農業関係の仕事に就職して、外から農業を見たり、いろいろな世界を見ていきたいと思っています。

寺澤 地元(田原市)に戻って農業に関わる仕事について、地元の農業を盛り上げていきたいと思っています。具体的には、これから自分がやりたいこととかやってみたいことを見つけて挑戦してみたいです。

土橋 農家さんを支えることに興味もでてきたので、JAなどに就職できたらなあって思っています。農大の先生にも興味があります。先生に教えてもらっていますけど、教える立場になるとかっこいいなあって思います。

校長 みなさんの話を聞いて、農大生活が新鮮で楽しく、勉強していい

という前向きな気持ちが伝わりました。これから、いろいろな進路があると思いますが、そのためにもいろいろな人に相談してほしい、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。農大では、人との付き合い方が密になっていっていると思うので、一生涯の友だち、付き合いができる人がきつとみつかると思います。きつなをぜひ築いて有意義に学生生活を過ごしてほしいと思います。そんなみなさんを職員も応援していきたいと思っています。今日はありがとうございます。



最後に校長を囲んでみんなで

専攻紹介

露地野菜専攻

露地野菜専攻は、愛知県が日本一の生産を誇るキャベツなどの露地野菜と促成栽培のイチゴを栽培しています。農業の未来を担う学生28人（2年生14人、1年生14人）がメンバーです。

ほ場の広さは1.5haと広大であり季節に応じて様々な品種を栽培しています。その数は40品目にもなり農大での専攻実習を通してこれらの栽培方法を学ぶことができます。

大きな面積の栽培に適した機械化やイチゴの栽培では環境制御技術の導入も行っています。また、多品目の栽培方法など日々多くのことを学びながら、栽培だけでなく売り方やブランド化など販売方法の工夫も学んでいます。

専攻実習の様子



機械化



大きなトラクターを使った耕運、乗用の農薬散布機での防除、ジャガイモ堀機など様々な機械を使うことができます。

【機械の種類】

乗用農薬散布機、トラクター（70馬力）、ジャガイモ堀機、巻取り式動力噴霧器、プランソイラー、マルチ張り機など



販売促進



ブロッコリーを鮮度保持フィルムで包むことで変色を防ぎ、市場での販売価値を高めています。作るだけでなく販売も重要な技術です。

【ブランド化（予定）】

- ・ブロッコリーの鮮度保持
- ・大玉イチゴの付加価値化



イチゴの設備



農大のイチゴはとても甘く好評です。炭酸ガス発生装置やモニタリング機器など環境制御を学べる設備が整っています。

- 【農大イチゴ栽培について】
- ・完熟出荷で糖度が高く甘い
 - ・炭酸ガスを利用し光合成を促進
 - ・次期作から細霧冷房を導入予定
 - ・愛知県で栽培される3品種を学ぶことができる



イチゴの給液管理



モニタリングデータをチェック



多様な品種

栽培品目は40品目以上。自分の育てたい野菜も作れます。こだわりの野菜を作りませんか。

- 【栽培品目】
- キャベツ、ブロッコリー、イチゴ、スイートコーン、カリフラワー、ナス、キュウリ、オクラ、ズッキーニ、スイカ、メロン、アスパラガス、パレイショ、タマネギ、ホウレンソウ、ダイコン、コマツナ、ネギ、チンゲンサイ、レタス、ハクサイ、エダマメ、インゲン、ラッカセイ等



ジャガイモ掘取り



ナスの栽培管理



メロンの栽培風景

学校行事

体育祭

令和3年度の体育祭は、6月3日（木）、本校グラウンド、本校体育館、青年の家体育館を会場に、ソフトボール、ドッジボール、バレーボールの競技を行いました。各競技では学生が多くの試合に参加できるよう総当たり戦とし、合同チームによる専攻対抗別としました。

今年の体育祭は、コロナウィルス感染拡大防止措置による緊急事態宣言中の開催となり、3密（密閉、密接、密集）回避の徹底を図り、競技会場は競技者のみが入場とする等、学生一人ひとりが高い意識で自覚ある行動をとることができました。

各競技の責任者は競技者にルールを遵守させ、規律ある運営を行うなど、リーダーとしての役割を果たしました。学生は体育祭でのコロナウィルス感染拡大防止やルールの遵守への取組を通して、コロナ禍での開催意義や有意義な活動方法について学ぶことができました。



ソフトボール



バレーボール



ドッジボール





結果発表

★★★★RANKING★★★★



専攻	ソフトボール	バレーボール	ドッジボール
施設野菜	2位	2位	2位
露地野菜	5位	1位	1位
作物・果樹	3位	3位	3位
切花・鉢緑	1位	5位	4位
畜産(酪農・豚・鶏)	4位	4位	5位

学生クラブ紹介

卓球部



部員数 17名
（男子14名 女子3名）
活動日時 火曜日 18:00～
活動場所 体育館



こんにちは卓球部です！私達は少ない台をみんなで交代しながら楽しく和気あいあいと練習しています。少しですがラケットもあるので初心者の方でもプレイすることが出来ます！練習メニューが無いので自分達で好きなように練習することができます。

みんなで「チョレイ！」しましょう！（部長 橋本 真優）

軽音楽部



部員数 8名
（男子6名 女子2名）
活動日時 月～金曜日 17:00～
活動場所 教室棟中教室



皆さんは音楽が好きですか。農大軽音楽部は初心者大歓迎です。実は部長の私も農大に入るまで楽器演奏の経験がなく、譜面も読めませんでした。それでも先輩が優しく教えてくれたことで、音楽を楽しむ居場所と仲間にあうことができました。

（部長 坂本 太陽）

専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！



収穫した野菜で作った料理は最高！

5月27日、2年生が農産加工演習で、自分たちが育てたキャベツや白菜などを使って3種類の料理とデザートで苺のババロア、加工品で苺ジャムを作りました。赤みそで作った肉味噌で味付けした「あいちサラダめし」は、ボリューム感があり、お腹いっぱいになりました。野菜たっぷり健康な料理なので、皆さんも作ってみてください。



「豊橋のエジソン」から経営を学ぶ！

施設野菜、露地野菜合同で5/21（金）に東三河地域へ校外学習に行きました。東三河農業研究所ではトマトの施肥試験、露地野菜では排水対策、緑肥などについて学びました。午後からは農大OBであり、大規模露地農家の柴田氏を訪問。「豊橋のエジソン」とテレビで紹介されるほどの自作の達人である柴田氏の自社開発機械の説明を受け、機械を改良するポイントや生活重視の経営スタイルを学び、学生は感銘を受けたようでした。



小麦「きぬあかり」の収穫！

作物専攻では、農業総合試験場が育成したおいしいめんができる品種「きぬあかり」を栽培しています。6月9日にコンバインでの収穫作業を行いました。学生たちは今年度初めての収穫作業に戸惑いながらも無事収穫を終えることができました。



色とりどりの袋を掛けて 品種リレー！

6月初旬、ナンの袋掛けを行いました。袋は収穫の早いものから白→橙色→赤色→灰色とし、品種ごとに見分けが付くようにしました。景色が良くなって作業効率も上がって一石二鳥です（^^）♪

各専攻の様子は、農大のインスタグラム、ツイッターで情報発信しています。



フラワーアレンジに奮闘？

安城市の木村講師を招いて、フラワーアレンジメントの制作が始まりました。今年度はフラワー装飾技能士の実技試験に合わせた作品を作っていますので、従来よりもハードな内容のため、苦戦しながら何とか完成。これからも奮闘と作品作りが続きます(汗)・・・



農産加工演習を行いました

6月17日に、栽培したハーブを使ったパスタやクッキー、ハーブティー作りを行いました。パスタに使ったみずみずしいトマトはもちろん農大産です。料理やお菓子へのハーブの使い方や効能を外部講師の先生から学びました。特にハーブで飾りつけたクッキーは香りがよく、見た目も可愛らしく美味しく焼けました。



牛の直腸検査をしました

6月16日に和牛で初めて直腸検査の練習を行いました。1年生は全く初めてなので、まず、雌牛の生殖器を手で触ることを目標としました。おそろおそろ手を入れると体内は温かく、思ったより手が動かせるけど、何を触っているかが分からなかったようです。今後、練習する回数を増やしていきます・・・



愛知県が開発した「系統豚」を学ぶ

6月18日、本校で飼養管理している豚の品種と種類について学生に講義を行いました。品種についてはすべての学生が知っていましたが、種類については、愛知県が開発し養豚農家に譲渡している「系統豚」という言葉を知らない学生が半数ほどいました。系統豚は、愛知県が独自に開発した繁殖性や産肉性に特徴を持った種豚です。今後も折に触れて、系統豚の良さを知ってもらおうと思っています。



ひなが順調に育っています

5月上旬に名古屋コーチン、白玉鶏、赤玉鶏等あわせて、1200羽のひなが入雞しました。初めてひなに触れた1年生もいましたが、2年生といっしょに世話をし、順調に育っています。9月下旬頃には卵を産みだし、おいしい卵をみなさんにお届けします。

研修だより

がんばってます！ 研修生 OB 紹介

平成29年度 農業技術研修 16期生修了生
(元 雇用創出農業研修)

山本瑞穂さん (40歳)

岡崎市

イチゴ 4a(ハウス)

イチジク 12a

モモ 3a



Q 就農のきっかけを教えてください

部品メーカーで設計の仕事をしていましたが、毎日、帰りも遅く、子どもとのふれあう時間ができない状況でした。もともと両親がイチゴ農家だったのですが、父が体調をくずしたこともあって、次男が生まれるのを機会に会社をやめて就農することに決めました。

Q 雇用創出研修を受講されたのはなぜですか

農業の経験は、実家の田植えや稲刈りを手伝う程度で何もわからず基礎を学びたいと思っていたところ、この研修のことを知りました。また、父から、農業の知り合いをたくさん作っておいた方がいいとアドバイスを受けたことから、研修を受講することにしました。

Q 現在、どんな経営をされていますか

イチゴ、イチジクを出荷しています（モモは来年から出荷予定）。出荷は、イチゴは産直施設に、イチジクはJAの部会を通じてパッキングセンターを経由して出荷しています。

イチゴの規模を大きくすることも考えましたが、人を雇わず家族経営にしようと決めていたので、規模拡大はあきらめました。しかし、収益を得な



いといけないことから、研修中に講師の先生から、イチゴ（12～5月出荷）、イチジク（8～10月）、モモ（6～7月）を組み合わせた作業分散のアドバイスを受けました。

また、子どもとほ場に来てふれあえるように、除草剤も使わない減農薬栽培にも取り組んでいます。今年、やっと黒字になりましたが、思っていたより労力がかかりました。現在、ブログ（瑞実農園）でPRも行っています。

Q 研修を受講してどうでしたか

農業を始めるのに基礎的な栽培を身につけられたのはもちろんですが、農業を始めるという同じ目標をもつ仲間とのつながりができたことがよかったです。研修生の仲間は今までに出会ったことがないような様々な経験をもつ方々ばかりで刺激にもなりました。

また、研修後もつながりが続いていて、作業を手伝ってもらうなどお互いに助け合っています。研修生で集まることで、情報共有ができ、自分自身のモチベーション、励みにもなっています。この財産はものすごく大きいと思います。このすばらしい仲間と出会えたのは、この研修のおかげだったと思います。

Q 受講生の方々へアドバイスをお願いします

研修中は栽培技術を身に着けることは大切ですが、農業を始めるには、どのように売っていくかもあらかじめ考えておいた方がいいと思います。また、農業を始めると意外に（外部の）人と出会う機会が少ないと思います。せっかく、この研修を通じて出会った仲間とつながり続け、仲良くして行ってほしいと思います。みなさんががんばってください。

トピックス

青山副知事が本校視察

6月15日（火）青山桂子副知事が本校を視察されました。この日、本校で開催された「あいち農山漁村女性の活躍促進大会」に参加される前に視察されたもので、校長から農大の概要について説明後、切花のバラ温室や施設野菜のICT温室や酪農のフリーストール牛舎を見学しました。

バラ温室では、鈴木結子さん（切花専攻2年）、ICT温室では、橋本真優さん（施設野菜専攻2年）が副知事に説明し、丁寧で分かりやすい説明に副知事をはじめ同行した職員一同感心しました。また、昼食時には農大のコーチン卵を使ったプリンとミニトマトを召し上がっていただきました。



進学指導会、就職セミナーを実施

6月10日（木）大学編入をめざす学生4名を対象に面接試験の指導会を行いました。また、6月14日（月）には就職情報会社（㈱インテルプレス）を講師に就職セミナーを実施しました。セミナーでは、企業選びのポイントや面接での自己PRのコツなど詳しく説明がありました。特に面接では「明るさ」「自然」「熱意」の3つが必須であるなど、多くの学生が熱心にメモをとっていました。本校では今後も就職、大学編入を希望する学生への支援を行っていきます。



農福連携支援研修が始まりました

福祉事業所等の皆さんが、福祉関係施設の栽培ほ場を運営するのに必要な農業に関する基礎知識や技術を習得することを目的とした「農福連携支援研修」が6月23日（水）に開講しました。当研修は翌年1月24日（月）までの約7か月間にわたりほ場実習や講義、さらに期間中2回の先進施設の視察が実施されます。開校式には8名の受講生が出席し、期待に胸を膨らませていました。



令和3年度外部評価委員会を開催

5月31日(月) 農大の取り組みや今年度の計画を外部の有識者等に評価してもらう「外部評価委員会」をリモート形式で開催しました。各委員からは、「農大に来ればこんなことができる」など、高校生にとって魅力的で分かりやすい情報発信を行うことが必要など、数多くの御意見や御提言をいただきました。

(外部評価結果は、7月末に本校 web ページに公表予定)



外部評価委員の皆様

淡路和則龍谷大学農学部教授、柴田隆夫本校同窓会長、鶴飼愛一郎安城農林校長、杉浦俊雄農業生産法人(株)中甲社長、村上光男 J A あいち中央会営農・くらし支援部長、長坂誠中日新聞社事業局次長

お知らせ

オープンキャンパス

本年度も、下記の5回を開催します。本校の学生も参加して交流を深める機会もあるので、農大への入学に関心がある方はぜひご参加ください！

- ① 7月3日(土) ② 7月10日(土)
- ③ 7月27日(火) ④ 8月3日(火)
- ⑤ 8月24日(火)

※ 各回とも午前9時50分～正午
※ 事前に参加申し込み（電話、メール）が必要です。

・詳細は本校ホームページを御覧ください。

令和4年度入学者選抜試験



●一般推薦入学試験

出願期間 9月29日(水)～10月15日(金)
試験日 11月1日(月)
合格発表 11月12日(金)
試験科目 小論文(800字以内) 面接試験
募集人員：定員100名のうち2/3程度

●一般入学一次試験

出願期間 11月11日(木)～11月26日(金)
試験日 12月10日(金)
合格発表 12月21日(火)
試験科目 数学Ⅰ、小論文(800字以内)、面接試験
募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

・詳細は、本校ホームページを御覧ください。

経営発展のためのノウハウを学び、将来の経営ビジョンを実現しましょう！！

令和3年度 愛知農業次世代リーダー塾 塾生募集

募集期間：6月16日(水)～7月27日(火) 募集人数：20名程度

対象者：以下の3つの要件を満たす方

- 愛知県内の専業農家であること ●原則、全講座(12回)に参加できること
- 受講後3年経過するまでに売上高10%以上拡大等の目標を設定していること

開催期間：8月30日(月)～翌年2月9日(水)計12講座 受講料：24,000円(税込)

※ 申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、Eメールのいずれかでお送りください。

・詳細は本校ホームページを御覧ください。(申込書はダウンロードできます。)

